

第1回 ESGファイナンス・アワード・ジャパン



環境サステナブル企業部門 金賞

花王株式会社

困難な時代だからこそ、 事実とエビデンスに 基づく視点を重視



ESG部門統括 執行役員
デイブ・マンツ氏

—昨年後半から今年前半にかけて、貴社の環境サステナブル経営に大きな影響を与えた事柄は何でしたか？

COVID-19の拡大は世界に大きな影響を与え、花王の経営にも大きな影響を与えています。

—それらの事柄に貴社はどのような姿勢で対応されてきたのでしょうか。今後の中長期的な取組や将来像なども含めてお教えてください。

まず社員の安全を第一に考えました。パンデミックの初期段階からリモートワークを導入し、CEOのメッセージを社内にも共有するなど迅速に対応しました。生活者に対しては、清潔・衛生製品の製造に注力し、清潔・衛生に関する情報提供に努めています。例えば、日本では消毒製品の生産能力を20倍に急増させ、緊急を要する医療機関や高齢者施設などへ優先的に供給。ドイツの工場でも品目を変更し、初めて消毒製品を生産しました。こうした行動の根底には、生活者に心からの満足と豊かさをもたらしたいという企業理念「花王ウェイ」があります。また、私たちは正道を歩む、誠実で清廉な事業活動を行う企業であることを重要視しています。誠実であるために、事実とエビデンスに基づいた視点、解決策を共有することが、このような困難な時代に最も効果的な行動につながると考えています。

2019年、花王は2030年に向けたESG戦略「Kirei Lifestyle Plan」を発表しました。これはより持続可能なライフスタイルを送りたいという生活者の願いに、花王がどう応えるかという視点をまとめたものです。

この数カ月間に起きている世界の変化を見ると、私たちが戦略の中で掲げる「脱炭素」や「ごみゼロ」「人権の尊重」などの環境・社会問題の重要性が高まるのは明らかです。こうした取り組みは今後も重要であり、このような状況だからこそより加速して取り組まねばならないと考えています。

花王はこれからも生活者の『Kirei Lifestyle』の実現、つまり、外見だけではなく内面も豊かに充実した、こころ豊かな暮

らしに貢献してまいります。

—今年の貴社の環境／サステナビリティ情報開示で注目すべきポイントをお教えてください。

ESG戦略「Kirei Lifestyle Plan」に沿って、19の重点取り組みテーマごとに関連する社会的課題、花王の提供する価値、2030年目標、2019年度の取り組み等を紹介。また、2030年のありたい姿の実現に向けたリスクと機会をそれぞれのテーマごとに開示することで情報のバランスを図りました。また社会から注目を集めるデジタル先端技術戦略、租税戦略などを含む他のテーマについては、プログレスレポートとは別の媒体でとりまとめ開示。これにより、「Kirei Lifestyle Plan」の内容や進捗状況のみならず、花王のESG活動全体の進捗が理解しやすくなることと、情報有用性や信頼性を高めることを目指しました。

また積極的に、気候変動シナリオ分析結果の開示を実施。分析対象としたセグメントや製品群を明確化するとともに分析プロセスを開示し、それぞれの製品群に対してリスクと機会の定量評価を開示。気候変動リスクが花王に与えるインパクトの大きさとそれに対する会社の対応状況についてレポート利用者により理解していただくことを目指しました。

—これから環境情報開示に取り組む企業へのアドバイスがあればお願いいたします。

これからの企業には、透明性が重要であると考えています。そのプロセスは、社会が求めている内容を積極的に開示し、対話を行い、理解をしていただくとともに足りないところをご指摘いただき自社の活動のレベルアップにつなげるということと理解しています。

開示項目は、マテリアリティの特定、リスクと機会の分析、中期戦略とKPIなど多数あり、労力を要しますが、理解していただくために必要な作業であると認識することが重要と考えます。